



# きこえとことば通信



立川市立第七小学校 校長 島村 雄次郎  
ことばの教室 TEL/FAX 042-527-3627(直通)

立川市立第八小学校 校長 藏重 佳治  
きこえとことばの教室 TEL/FAX 042-536-9664(直通)

とても暑かった夏の暑さもようやく和らぎ、秋らしさが少しずつ感じられるようになりました。

今回は、読み書きに困難さのある子供たちの学習についてご紹介します。合理的配慮や ICT を活用した工夫を紹介し、ご家庭や在籍学級の先生方にもご活用いただけましたら幸いです。

## 特集 読み書きの困難さ・合理的配慮・ICT の活用



### 読み書きの困難さとは？



多くの人は文字を読み進める時、見た文字を自然に音に変換しています。たとえば「さかな」という文字を見たとき、何も考えなくても頭の中で「さかな」と声が響くように変換されています。これを「自動化」と呼びます。

しかし、読み書きに困難さがある子供は、この自動化が進みにくく、文字を見てもすぐに音が浮かばなかったり、読むのにとても時間がかかります。文を読むのにも労力を要し、内容を理解する前に疲れてしまうこともあります。

また、文字の形をよく見ても「十」のように線が交わる字や、「大・犬・太・木」などの似ている字の違いが分かりにくいという場合もあります。文字を目で追って写すことや、文字を思い出す力が弱い場合もあります。手先の動かし方が苦手な子供もいます。

こうした困難は「怠けている」「努力不足」と誤解されやすいですが、脳の処理の特性によるもので、本人の努力で簡単に解決できるものではありません。むしろ、必要以上に「頑張らなきゃ」と自分を責めてしまい、自信を失ってしまう危険もあります。

### 読み書きの困難さとその影響の具体例

本を読んでも内容理解が追いつかず、読書嫌いになってしまう  
→文字から情報がとれなくなる



黒板の文字をノートに写すのに時間がかかり、授業の内容を聞く余裕がなくなる  
→本来理解できるはずの授業内容が身に付かない

理解力があるにも関わらず、読むスピードが遅いために、テスト時間中にテストが終わらない  
→学力が正しく評価されにくく

テストで答えが分かっていても、字を書くのに時間がかかるて回答欄が埋められない  
→内容理解しているのに、点数がとれない

## 合理的配慮とは～学びやすさの調整で力を発揮！～



令和6年4月1日から、すべての公的機関（学校を含む）や事業所で「合理的配慮（子ども一人ひとりの特性や困難さに応じて、学びやすい方法や環境を整えること）」の提供が義務化されました。

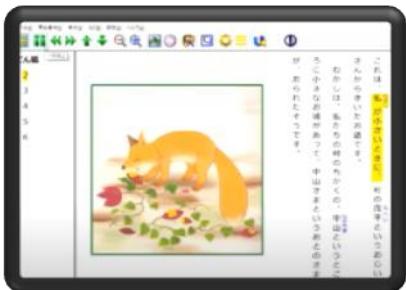
例えば、読み書きが苦手な児童には教材の工夫をしたり、時間の保証をしたりして、学習内容の理解に集中できるようにします。

合理的配慮は、保護者や本人からの申し出をもとに話し合って、お互いの合意のもとに進めていきます。

## ICT 活用で広がる学びの可能性

タブレットやパソコンの導入が進み、読み書き困難がある子供たちにとって大きな助けとなっています。

無料ですぐに活用できる ICT 教材を紹介します！



### デジタル教科書「デイジー教科書」

デイジー教科書は、耳で聞きながら同じ画面で文字を追える「読む+聞く」教科書です。漢字にルビをふったり、文字サイズを変えたり、自分に合った方法で学習できます。分かりやすさを実感できる、便利な新しい教科書です。

☺子供の感想☺ 「宿題がつらくなくなった！」

出典:DINF「デイジー教科書の紹介」 <https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytex.html>

### 漢字学習サイト「漢字マスター」

読み・書き・意味をゲーム感覚で学べるサイトで、楽しみながら漢字を覚えることができます。パソコンやタブレットでいつでもどこでも練習でき、スキマ時間の活用にぴったりです！

☺子供の感想☺ 「漢字の勉強が楽しくなった！」



出典:e-こころ漢字公式サイト <https://e-kokoro.org/kanji/>



ICT 機器はとても便利ですが、学習以外のゲームや長時間の動画視聴にもつながりやすいものです。時間やルールを決めて、保護者の見守りのもとで安心して活用しましょう。

きこえことばの相談は隨時受け付けています。

気になることがありましたら お問い合わせください。